

ランチェスター後継者育成戦略塾

後継者育成を本気でお考えの社長様にメッセージ

創業時の苦しい状態を後継者に伝えたいと思っているがイザとなると、何と何を、どのように伝えればよいか解らないので困っている。

逆境に強い後継者になって欲しいと思っているが、説明を始めるとつい「説教調」になるので、後継者と対立して思いどおり進まずに困っている。

経営戦略の大事なところを、二代目にきちんとマスターしてもらいたいと思っているが、どういう方法で教育すればよいか解らず困っている。

このような事情を解決するために開くのが、この後継者育成戦略塾です。

1. 財産類の相続は全体の3割もない

事業承継のセミナーはあちこちで開かれています。講師のほとんどが**相続税**に詳しい税理士になっているので、説明されている内容は**遺産の配分と相続税**が中心になっています。これも必要ですが事業承継全体では「**3割**」もないので、これだけでは決して良い結果は得られません。なぜでしょうか。

2. 経営方法の伝達が最も大事

それは「子供には魚を与えるより、魚の釣り方を教えよ」という教訓があるからです。これは財産類を相続させることよりも、むしろ創業者が長い間の経験でつかんだ、経営の大事な知識や大事な戦略の伝達に力を入れるべきだ、ということを表しています。

事業承継では経営戦略の伝達が「**7割**」を占めるので、これに力を入れないと良い結果は得られません。

3. 教育効果の公式をはっきりさせる

創業者の体験に基いた、実践的な戦略を二代目にきちんと伝えるには、まず「**教育効果の公式**」をはっきりさせておかねばなりません。

教育効果は、**二代目の素質×教材の質×教育回数**、の3つで決まります。

この公式が示す通り、良い教材を準備し、教育回数を多くすれば仮に二代目の素質に自信がなくても、**高い戦略知識**が身につくのです。

4. 教育をしないで社長を譲る人が多い

ところで「戦略とは見えざるもの」と言われるとおり、戦略は形がなくてつかみどころがありません。これが原因で二代目専用の教材を「**自作**」する社長は滅多にいません。

そればかりか後継者が男の場合はどうしても父親への対抗心が出るので、何10回も教育することがひどく難しくなります。これが原因でまともな**戦略教育**をしないまま、社長の地位を譲っている人がとても多くなっています。これでは放漫経営に陥り、倒産する率がとても多くなります。

5. 弱者の戦略は創業精神の戦略

この解決策として開くのが、今回の後継者育成戦略塾です。教材にはランチェスター経営が開発した、フルラインの**CDかDVD**のセットを**予習用**として使います。テーマは裏面を参照して下さい。中でも弱者の戦略は、初心の戦略であるとともに創業者の戦略でもありますから、とても役に立ちます。

次に、難しいところや重要度が高いところは、実例をあげながら追加の説明をしたり実習をするので、理解度がより高まります。

さらに**毎回宿題**を出し、これを少人数で検討していくので応用能力が一層強くなります。もちろん個別相談も受け付けます。

二代目の戦略教育を本気でお考えの社長様には、必ず役立つ後継者育成塾です。将来の安全を保つための先行投資と考えて決心を。